2/12 治水と観光を担うダムへ
第4回「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会

第4回「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会が役場大会議室で開催され、「阿蘇・立野峡谷」のもつ観光資源とダムを連動させた地域振興に関する令和元年度の取り組み状況の報告と令和2年度の取り組み内容（案）について検討が行われました。

今回の会議では、観光商品に限らず、地域の子どもたちを対象に、阿蘇立野峡谷を貴重な体験学習の場として活用した取り組みを行ってはどうか、との意見があり、今後、関係機関と調整の上、企画部会で検討していくこととなりました。

また、新たなダム関連商品として「ダムTシャツ」「缶バッジ」の一般販売開始について発表されました。Tシャツは、前が立野ダム下流側設計図、後が立野ダム上流側設計図となっており、デザイン性が高い商品として完成。同商品は、道の駅などで3月下旬より販売開始予定となっています。

〈問い合わせ〉
「阿蘇・立野峡谷」ツーリズム推進協議会事務局
産業観光課 商工観光係　TEL（67）1112

❶協議会の様子　❷ダムTシャツ（❸前面　❹背面）

2/18 野焼きの再開に向けて
原野火入れ一部再開による調印式

（左から）吉良村長、後藤健一白川牧野組合長、志垣亮次阿蘇地域振興局農林部長

熊本地震の被害や担い手不足により全体の約4割（約630ヘクタール）で中断されている野焼きの一部再開に先立ち、県立ち会いのもとで村と白川牧野組合が「原野火入れに係る確約書」への調印を行いました。

県、村、地元の連携により4年ぶりに原野火入れの条件が整ったのは、白川牧野の一部（約80ヘクタール）。今回から村有地については火入れ責任者を村長とし、地元区長などを監督者とする体制となります。

村では今後も各地元と関係機関とで協議を進め、野焼きの全面再開へ向けた取組みを続けていきます。

2/14 地域防災に役立てて
村老人クラブ連合会から発電機寄贈

栃原消防団長に目録を手渡す渡邉会長（左）と発電機（右）

村の老人クラブ連合会（渡邉正人会長）から村消防団へ発電機16台が寄贈されました。

この発電機は、全国老人クラブ連合会から県の連合会を通して村連合会へ交付された「熊本地震災害救援拠金」を活用し、老人クラブ活動に留まらず地域全体の役に立つようにと準備されたもの。渡邉会長は、「防災や屋外での活動などで有効に使っていただければ」と述べられ、発電機は村消防団で維持管理・運用されます。

2/20、26、28 科学で楽しい・おいしい体験
東海大学による科学体験プログラム

ビニールの「クラゲ」を静電気で浮かせて遊ぶ園児たち

村と東海大学九州キャンパスで組織する総合交流協議会事業の一環として、村の3保育園で科学を使った体験プログラムが実施されました。

園児たちは東海大学の先生・学生に教わりながら静電気を利用した電気クラゲ遊びと、手作りアイス作りを体験。不思議な科学の仕組みを利用したプログラムに園児たちは大盛り上がりでした。

2/19 いつまでも元気で長生きを
工藤イソさん（両併二）

100歳を迎えられた工藤イソさん（左から2番目）

工藤イソさん（両併二）が100歳のお誕生日を迎えられるにあたり、入所されている施設でご家族や施設職員が見守る中、お祝いがありました。

工藤さんは、大正9年2月20日生まれ。お祝い翌日に100歳になられました。

村からは表彰状と記念品が贈呈され、内閣総理大臣表彰の伝達も執り行われました。工藤さんはにこやかな表情で謝辞を述べられ、とてもお元気な様子でした。

2/29 復興を願って植樹
The Day Project Meeting vol.3

ジューンベリーの木（左）を植樹した協議会・事業者の皆さん

復興交流イベント「The Day Project Meeting vol.3」（主催：南阿蘇村観光復興プロジェクト交流協議会）が開催され、南阿蘇「メルヘン村」入口（乙ヶ瀬）で関係者による復興祈念植樹が行われました。

植えられたのは「ジューンベリー」という四季折々で花、果実、紅葉が楽しめる品種の木。熊本地震で被災した事業者の再建が決まったことを受け、もう一度根を張って事業再建が進むことを願っての植樹となりました。

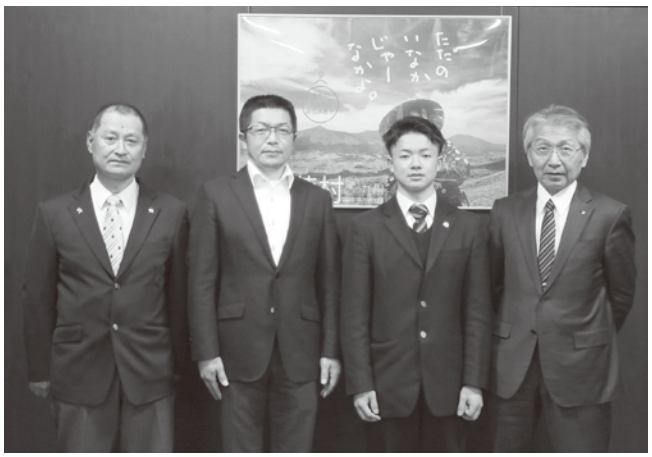
2/26 地域で農業を共同経営
農事組合法人「喜多」設立総会

設立総会で選出された6人の理事

村内では3例目となる農事組合法人「喜多」（北野悦之代表理事、組合員33人）の設立総会が喜多公民館で行われました。

農事組合法人とは、農作業や農業経営などを共同で行うことができる組織。地域農業の担い手の高齢化などの課題を解決しようと設立された農事組合法人「喜多」では、「食づくり、人づくり、喜び多い地域づくり」を経営理念とし、地域の農地維持や経営の効率化、生産性の向上などを目指します。

3/10 立派な自衛官を目指して
令和元年度自衛隊入隊者壮行会



新入隊する工藤魁翔さん（左から３番目）

令和元年度自衛隊入隊者壮行会が役場村長室で行われました。

保護者と自衛隊家族会南阿蘇村支部の藤本今朝文支部長、村長が参加し、新入隊者へ激励の言葉が送られました。

今年度自衛隊に新入隊するのは、工藤魁翔さん（第四駐在）。

春から着任先で訓練や任務に励まれます。

3/9 社会教育の振興に貢献
社会教育功労者表彰（古庄則光さん）

（右から）表彰を受けた古庄則光さんと松野教育長

古庄則光さん（袴野）が「社会教育功労者表彰」を受けられ、表彰状の伝達が役場教育長室で行われました。

この表彰は文部科学省が、地域における社会教育の振興に多年にわたり功労があった人の功績をたたえるものです。

古庄さんは平成20年から11年にわたって村の社会教育委員を務め、平成23年からは社会教育副委員長として活動され、地域のさまざまな場面でつちかった豊富な経験と知識を活かし、村の社会教育の推進に尽力してこられました。

3/14 学び舎を巣立つ
令和元年度 南阿蘇中学校卒業式

卒業生全員での合唱

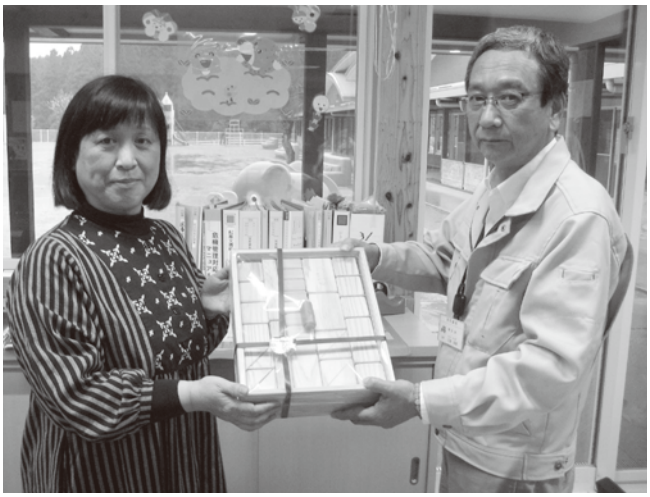
南阿蘇中学校の卒業式が同校体育館で行われました。令和元年度の卒業生は97人。

式では卒業証書を一人ひとりに手渡した坂梨正文校長が、「夢の実現に向け、しっかりとした目標を持ち挑戦してほしい。感謝の心を大切にしてください」と卒業生たちに激励の言葉を贈りました。

在校生を代表して大山翔生さん（中松一）が送辞を送り、卒業生の菅原熊太朗さん（第三駐在）が答辞として感謝の言葉を述べました。

式の終盤にはサプライズで、卒業生から定年退職を迎える坂梨校長に「卒業証書」と歌が贈られました。

3/10 ぬくもり感じる木のおもちゃ
阿蘇森づくり協議会　積み木寄贈



贈呈された木箱入りの積み木が江藤農政課長から大塚園長へ手渡されました。

阿蘇森づくり協議会（阿南忠治会長）から、ちょうよう保育園に積み木が贈呈されました。

同協会は、未来を担う子どもたちに木の良さなどを肌で感じてもらうため、平成22年度から管内の幼稚園・保育園に対して木材玩具を贈呈しており、本年度も協議会の木材需要拡大対策部会の計画により子どもたちに木のおもちゃが届けられました。